

費用対効果分析に関する説明資料

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	戸別所得補償実施円滑化基盤整備事業 農地整備事業	地区名	ほうきょうだいいち 豊共第1
-----	-----------------------------	-----	-------------------

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	5,450,679千円	
当該事業による費用	②	2,847,508千円	
その他費用	③	2,603,171千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	6,601,711千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.21	

2. 年効果額の総括

（単位：千円）

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	140,538	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での農産物生産量が増減する効果
品質向上効果	8,976	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での品質が向上する効果
営農経費節減効果	224,825	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果	△1,468	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果
営農に係る走行経費節減効果	979	区画整理に伴う農道整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農に係る走行経費が低減する効果
耕作放棄防止効果	98	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での耕作放棄の発生が防止される効果
一般交通等経費節減効果	361	区画整理に伴う農道整備を実施した場合と実施しなかった場合での一般車両の走行経費が低減する効果
計	374,309	

出典：豊共第1地区土地改良事業計画書（北海道胆振総合振興局農村振興課作成）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	戸別所得補償実施円滑化基盤整備事業 農地整備事業	地区名	びほろたなか 美幌田中
-----	-----------------------------	-----	----------------

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	2,622,650千円	
当該事業による費用	②	2,113,084千円	
その他費用	③	509,566千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	5,784,667千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	2.20	

2. 年効果額の総括

（単位：千円）

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	200,613	客土、暗渠排水、区画整理及び除礫を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果	123,796	客土、暗渠排水、区画整理及び除礫を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
計	324,409	

出典：美幌田中地区土地改良事業計画概要書（北海道オホーツク総合振興局調整課作成）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	戸別所得補償実施円滑化基盤整備事業 農地整備事業	地区名	かわにしちゅうおう 川西中央
-----	-----------------------------	-----	-------------------

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	1,819,573千円	
当該事業による費用	②	1,480,030千円	
その他費用	③	339,543千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	3,653,313千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	2.00	

2. 年効果額の総括

（単位：千円）

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	99,694	農業用排水施設整備（排水施設）、客土、暗渠排水、区画整理及び除礫を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果	109,785	農業用排水施設整備（排水施設）、客土、暗渠排水、区画整理及び除礫を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果	△192	農業用排水施設整備（排水施設）の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果
計	209,287	

出典：川西中央地区土地改良事業計画概要書（北海道十勝総合振興局調整課作成）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	戸別所得補償実施円滑化基盤整備事業 農地整備事業	地区名	びまんたかくら 美蔓高倉
-----	-----------------------------	-----	-----------------

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	4,038,556千円	
当該事業による費用	②	1,260,266千円	
その他費用	③	2,778,290千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	6,013,103千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.48	

2. 年効果額の総括

（単位：千円）

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	179,461	農業用排水施設整備（畑地かんがい施設）、客土、暗渠排水、区画整理及び除礫を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果
品質向上効果	7,957	農業用排水施設整備（畑地かんがい施設）を実施した場合に品質向上により農産物単価が上昇する効果
営農経費節減効果	184,180	農業用排水施設整備（畑地かんがい施設）、客土、暗渠排水、区画整理及び除礫を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果	△3,860	農業用排水施設整備（畑地かんがい施設）の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果
地域用水効果	3,010	農業用排水施設整備（畑地かんがい施設）の整備を実施した場合に防火用水としての活用が可能となり防火施設設置費が節減される効果
計	370,748	

出典：美蔓高倉地区土地改良事業計画概要書（北海道十勝総合振興局調整課作成）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	戸別所得補償実施円滑化基盤整備事業 農地整備事業	地区名	しかおいびまん 鹿追美蔓
-----	-----------------------------	-----	-----------------

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	6,115,635千円	
当該事業による費用	②	1,539,269千円	
その他費用	③	4,576,366千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	7,562,764千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.23	

2. 年効果額の総括

（単位：千円）

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	187,041	農業用排水施設整備（畑地かんがい施設）、暗渠排水、区画整理及び除礫を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果
品質向上効果	13,764	農業用排水施設整備（畑地かんがい施設）を実施した場合に品質向上により農産物単価が上昇する効果
営農経費節減効果	279,254	農業用排水施設整備（畑地かんがい施設）、暗渠排水、区画整理及び除礫を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果	△6,356	農業用排水施設整備（畑地かんがい施設）の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果
地域用水効果	4,833	農業用排水施設整備（畑地かんがい施設）の整備を実施した場合に防火用水としての活用が可能となり防火施設設置費が節減される効果
計	478,536	

出典：鹿追美蔓地区土地改良事業計画概要書（北海道十勝総合振興局調整課作成）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	戸別所得補償実施円滑化基盤整備事業 農地整備事業	地区名	みなみへいわだいに 南平和第2
-----	-----------------------------	-----	--------------------

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	4,893,184千円	
当該事業による費用	②	2,004,288千円	
その他費用	③	2,888,896千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	8,398,433千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.71	

2. 年効果額の総括

（単位：千円）

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	263,325	農業用排水施設整備（畑地かんがい施設）、客土、暗渠排水、区画整理及び除礫を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果
品質向上効果	19,654	農業用排水施設整備（畑地かんがい施設）を実施した場合に品質向上により農産物単価が上昇する効果
営農経費節減効果	231,404	農業用排水施設整備（畑地かんがい施設）、客土、暗渠排水、区画整理及び除礫を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果	△3,908	農業用排水施設整備（畑地かんがい施設）の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果
地域用水効果	2,989	農業用排水施設整備（畑地かんがい施設）の整備を実施した場合に防火用水としての活用が可能となり防火施設設置費が節減される効果
計	513,464	

出典：南平和第2地区土地改良事業計画概要書（北海道十勝総合振興局調整課作成）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	戸別所得補償実施円滑化基盤整備事業 農地整備事業	地区名	福島徳下
-----	-----------------------------	-----	------

1. 総費用総便益比の算定

(単位：千円)

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	1,524,506千円	
当該事業による費用	②	1,090,747千円	
その他費用	③	433,759千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	2,649,933千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.73	

2. 年効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	118,420	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での農産物生産量が増減する効果
営農経費節減効果	22,678	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果	1,012	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果
耕作放棄地防止効果	715	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での耕作放棄の発生が防止される効果
計	142,825	

出典：福島徳下地区土地改良事業計画書（青森県農村整備課作成）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	戸別所得補償実施円滑化基盤整備事業 農地整備事業	地区名	つぎまる 次丸
-----	-----------------------------	-----	------------

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	1,731,591千円	
当該事業による費用	②	1,329,094千円	
その他費用	③	402,497千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	2,706,958千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.56	

2. 年効果額の総括

（単位：千円）

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	43,150	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での農産物生産量が増減する効果
営農経費節減効果	97,065	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果	2,045	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果
耕作放棄防止効果	1	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での耕作放棄地発生が防止され農作物生産量が維持される効果
非農用地等創設効果	662	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での用地調達経費が節減される効果
計	142,923	

出典：次丸地区土地改良事業計画書（岩手県農村計画課作成）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	戸別所得補償実施円滑化基盤整備事業 農地整備事業	地区名	わがちゅうぶいわさき 和賀中部岩崎
-----	-----------------------------	-----	----------------------

1. 総費用総便益比の算定

(単位：千円)

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	6,010,657千円	
当該事業による費用	②	3,856,025千円	
その他費用	③	2,154,632千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	8,444,248千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.40	

2. 年効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	247,452	農業用排水施設整備を実施した場合と実施しなかった場合での農産物生産量が増減する効果
品質向上効果	240	農道整備を実施した場合と実施しなかった場合での荷傷み防止により品質が向上する効果
営農経費節減効果	192,161	農業用排水施設整備及び区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果	△ 15,537	農業用排水施設整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果
走行経費節減効果	8,402	農道整備を実施した場合とされることにより走行時間の短縮する効果
計	432,718	

出典：和賀中部地区土地改良事業計画書（岩手県農村計画課作成）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	戸別所得補償実施円滑化基盤整備事業 農地整備事業	地区名	たかやま 高山
-----	-----------------------------	-----	------------

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	2,184,080千円	
当該事業による費用	②	1,467,316千円	
その他費用	③	716,764千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	48 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	2,781,968千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.27	

2. 年効果額の総括

（単位：千円）

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	64,629	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での農産物生産量が増減する効果
営農経費節減効果	85,127	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果	△9,224	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果
耕作放棄地防止効果	60	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での耕作放棄の発生が防止される効果
計	140,592	

出典：高山地区土地改良事業計画概要書（山形県置賜総合支庁農村計画課作成）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	戸別所得補償実施円滑化基盤整備事業 農地整備事業	地区名	おちあい・ゆざわ 落合・湯沢
-----	-----------------------------	-----	-------------------

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	1,301,263千円	
当該事業による費用	②	846,342千円	
その他費用	③	454,921千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	2,051,481千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.57	

2. 年効果額の総括

（単位：千円）

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	64,583	農業用排水施設整備及び区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での農産物生産量が増減する効果
品質向上効果	6,849	農道整備を実施した場合と実施しなかった場合での荷傷み防止により品質が向上する効果
営農経費節減効果	9,574	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果	△2,018	農業用排水施設整備及び農道整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果
営農に係る走行経費節減効果	22,366	農道整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農に係る走行経費が低減する効果
計	101,354	

出典：落合・湯沢地区土地改良事業計画概要書（山梨県農政部耕地課作成）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	戸別所得補償実施円滑化基盤整備事業 農地整備事業	地区名	くろこまにし 黒駒西
-----	-----------------------------	-----	---------------

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	1,965,258千円	
当該事業による費用	②	1,768,272千円	
その他費用	③	196,986千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	4,473,244千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	2.27	

2. 年効果額の総括

（単位：千円）

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	23,762	農業用用水排施設整備（用水施設）を実施した場合と実施しなかった場合での農産物生産量が増減する効果
品質向上効果	27,035	農業用排水施設整備及び農道整備を実施した場合と実施しなかった場合での農産物の品質が向上する効果
営農経費節減効果	60,173	農業用排水施設整備（用水施設）及び区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果	△926	農業用排水施設整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果
営農に係る走行経費節減効果	125,881	農道整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農に係る走行経費が増減する効果
一般交通等経費節減効果	1,455	農道整備を実施した場合と実施しなかった場合での一般交通に係る走行経費が増減する効果
計	237,380	

出典：黒駒西地区土地改良事業計画概要書（山梨県農政部耕地課作成）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	戸別所得補償実施円滑化基盤整備事業 農地整備事業	地区名	いわて 岩手
-----	-----------------------------	-----	-----------

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	1,868,380千円	
当該事業による費用	②	1,532,163千円	
その他費用	③	336,217千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	3,391,169千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.81	

2. 年効果額の総括

（単位：千円）

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	26,298	農業用排水施設整備及び区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果
品質向上効果	29,897	農業用排水施設整備及び農道整備を実施した場合と実施しなかった場合での農産物の品質が増減する効果
営農経費節減効果	58,984	農業用排水施設整備及び区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果	△1,198	農業用排水施設整備及び農道整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果
営農に係る走行経費節減効果	51,513	農道整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農に係る走行経費が増減する効果
一般交通等経費節減効果	10,014	農道整備を実施した場合と実施しなかった場合での一般交通に係る走行経費が増減する効果
計	175,508	

出典：岩手地区土地改良事業計画概要書（山梨県農政部耕地課作成）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	戸別所得補償実施円滑化基盤整備事業 農地整備事業	地区名	はなみ 花見
-----	-----------------------------	-----	-----------

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	1,842,982千円	
当該事業による費用	②	856,781千円	
その他費用	③	986,201千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	3,684,694千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.99	

2. 年効果額の総括

（単位：千円）

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	55,054	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果	71,821	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果	△ 6,117	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果
耕作放棄防止効果	10	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での耕作放棄地が減少する効果
災害防止効果(農業)	15,891	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での災害が軽減防止される効果
農業労働環境改善効果	10,334	区画整理に伴う農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農業労働環境が改善する効果
災害防止効果(一般資産)	39,089	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での災害が軽減防止される効果
地籍確定効果	857	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での地籍が明確になる効果
計	186,939	

出典：花見地区土地改良事業計画書（新潟県農地計画課作成）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	戸別所得補償実施円滑化基盤整備事業 農地整備事業	地区名	さいくろ 斎宮
-----	-----------------------------	-----	------------

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	3,670,397千円	
当該事業による費用	②	1,430,368千円	
その他費用	③	2,240,029千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	4,430,136千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.20	

2. 年効果額の総括

（単位：千円）

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	109,201	農業用用水施設整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果	1,226	農業用排水施設整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果	9,846	農業用排水施設整備及び農道整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果
営農走行経費節減効果	2,147	農道整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農に係る走行経費が増減する効果
災害防止効果（農業）	62,264	農業用排水施設整備を実施した場合と実施しなかった場合での災害が軽減防止される効果
都市・農村交流促進効果	154	農業用排水施設整備を実施した場合に付随的に生じる水辺環境として地域住民に活用される効果
景観・環境保全効果	33,571	農業用排水施設整備を実施した場合に、環境との調和に配慮した整備により地域住民の生活環境や利便性等が向上する効果
計	218,409	

出典：斎宮地区土地改良事業計画概要書（三重県農水商工部農業基盤室作成）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	戸別所得補償実施円滑化基盤整備事業 草地畜産基盤整備事業	地区名	しらぬか 白糠
-----	---------------------------------	-----	------------

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	1,223,193千円	
当該事業による費用	②	1,223,193千円	
その他費用	③	0千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	24 年	当該事業の工事期間＋20年
総便益額（現在価値化）	⑤	1,444,381千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.18	

2. 年効果額の総括

（単位：千円）

効果項目	年効果額	効果の要因
畜産物等生産効果	21,686	草地造成改良整備及び農業用施設整備を実施した場合としなかった場合での畜産物生産量が増減する効果
営農経費節減効果	90,608	草地造成改良整備及び農業用施設整備を実施した場合としなかった場合での営農経費が増減する効果
計	112,294	

出典：白糠地区事業実施計画書（北海道農政部農村計画課作成）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	戸別所得補償実施円滑化基盤整備事業 水利施設整備事業	地区名	しょうげんにき 将監 2 期
-----	-------------------------------	-----	-------------------

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	3,571,932千円	
当該事業による費用	②	1,292,952千円	
その他費用	③	2,278,980千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	49 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	3,758,578千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.05	

2. 年効果額の総括

（単位：千円）

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	158,234	農業用排水施設整備（用水施設）を実施した場合と実施しなかった場合での農産物生産量が増減する効果
営農経費節減効果	△19,477	農業用排水施設整備（用水施設）を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果	1,710	農業用排水施設整備（用水施設）を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果
計	140,467	

出典：将監 2 期地区土地改良事業計画概要書（愛知県農地計画課作成）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	特定地域振興生産基盤整備事業 農地整備事業	地区名	だいにおもなわ 第二面縄
-----	--------------------------	-----	-----------------

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	4,656,288千円	
当該事業による費用	②	2,284,899千円	
その他費用	③	2,371,389千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	53 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	5,095,868千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.09	

2. 年効果額の総括

（単位：千円）

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	178,007	農業用排水施設整備及び区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果
品質向上効果	2,716	農業用排水施設整備及び区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での農作物の品質が向上する効果
営農経費節減効果	157,942	農業用排水施設整備及び区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果	△6,745	農業用排水施設整備及び区画整理を実施した場合と実施しなかった場合の維持管理費が増減する効果
地籍確定効果	1,476	区画整理を実施した場合の地籍が明確になる効果
計	333,396	

出典：第二面縄地区土地改良事業計画概要書（鹿児島県農村振興課作成）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	特定地域振興生産基盤整備事業 水利施設整備事業	地区名	かじどう 加治道
-----	----------------------------	-----	-------------

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	1,312,413千円	
当該事業による費用	②	931,625千円	
その他費用	③	380,788千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	1,591,298千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.21	

2. 年効果額の総括

（単位：千円）

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	29,232	農業用排水施設整備（用水施設）及び区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果
品質向上効果	576	農業用排水施設整備（用水施設）を実施した場合と実施しなかった場合での農作物の品質が向上する効果
営農経費節減効果	21,378	農業用排水施設整備（用水施設）及び区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果	△2,154	農業用排水施設整備及び区画整理を実施した場合と実施しなかった場合の維持管理費が増減する効果
災害防止効果（農業）	1,644	農業用排水施設整備及び区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での災害が軽減防止される効果
その他効果	40,628	赤土等流出防止効果（38,836千円） 景観・環境保全効果（1,792千円）
計	91,304	

出典：加治道地区土地改良事業計画概要書（沖縄県村づくり計画課作成）

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	特定地域振興生産基盤整備事業 水利施設整備事業	地区名	にしあらふ 西新生
-----	----------------------------	-----	--------------

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	3,104,315千円	
当該事業による費用	②	1,569,112千円	
その他費用	③	1,535,203千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	4,129,924千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.33	

2. 年効果額の総括

（単位：千円）

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	67,029	農業用排水施設整備（用水施設）及び区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果
品質向上効果	2,754	農業用排水施設整備（用水施設）を実施した場合と実施しなかった場合での農作物の品質が向上する効果
営農経費節減効果	46,691	農業用排水施設整備（用水施設）及び区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果	△5,729	農業用排水施設整備及び区画整理を実施した場合と実施しなかった場合の維持管理費が増減する効果
災害防止効果（農業）	4,320	農業用排水施設整備及び区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での災害が軽減防止される効果
その他効果	112,846	赤土等流出防止効果（108,975千円） 景観・環境保全効果（3,871千円）
計	227,911	

出典：西新生地区土地改良事業計画概要書（沖縄県村づくり計画課作成）